

船場の東西をつなぐ歩行者デッキ

-
1. 安全なアクセスルートの確保 . . . **p.17**
 2. 歩行者デッキ整備計画 . . . **p.21**
 3. 公園への影響を最小限にする方策 . . . **p.22**
 4. 公園のバリアフリー対応と
道路上空部のプライバシー対策 . . . **p.29**
 5. スケジュール . . . **p.31**

1. 安全なアクセスルートの確保

歩行者デッキ整備の必要性

物理的な制約から、（仮称）箕面船場駅は本体・昇降口とも国道423号の東側にできるため、国道の西側から駅や駅周辺施設に徒歩でアクセスするためには、国道を横断する必要があります。多くの歩行者の安全を確保するため、国道をまたぎ、駅の昇降口や周辺施設のメイン動線と直接つながる歩行者デッキ（歩道橋）を整備する計画です。

箕面船場エリア現況

（仮称）箕面船場駅周辺配置イメージ



国道423号（新御堂筋）を横断する動線

現在、西から東へ国道423号を横断する動線は、北橋・南橋の2箇所ありますが、どちらも交通量の多い危険な道路と交差点を通らなくてはなりません。

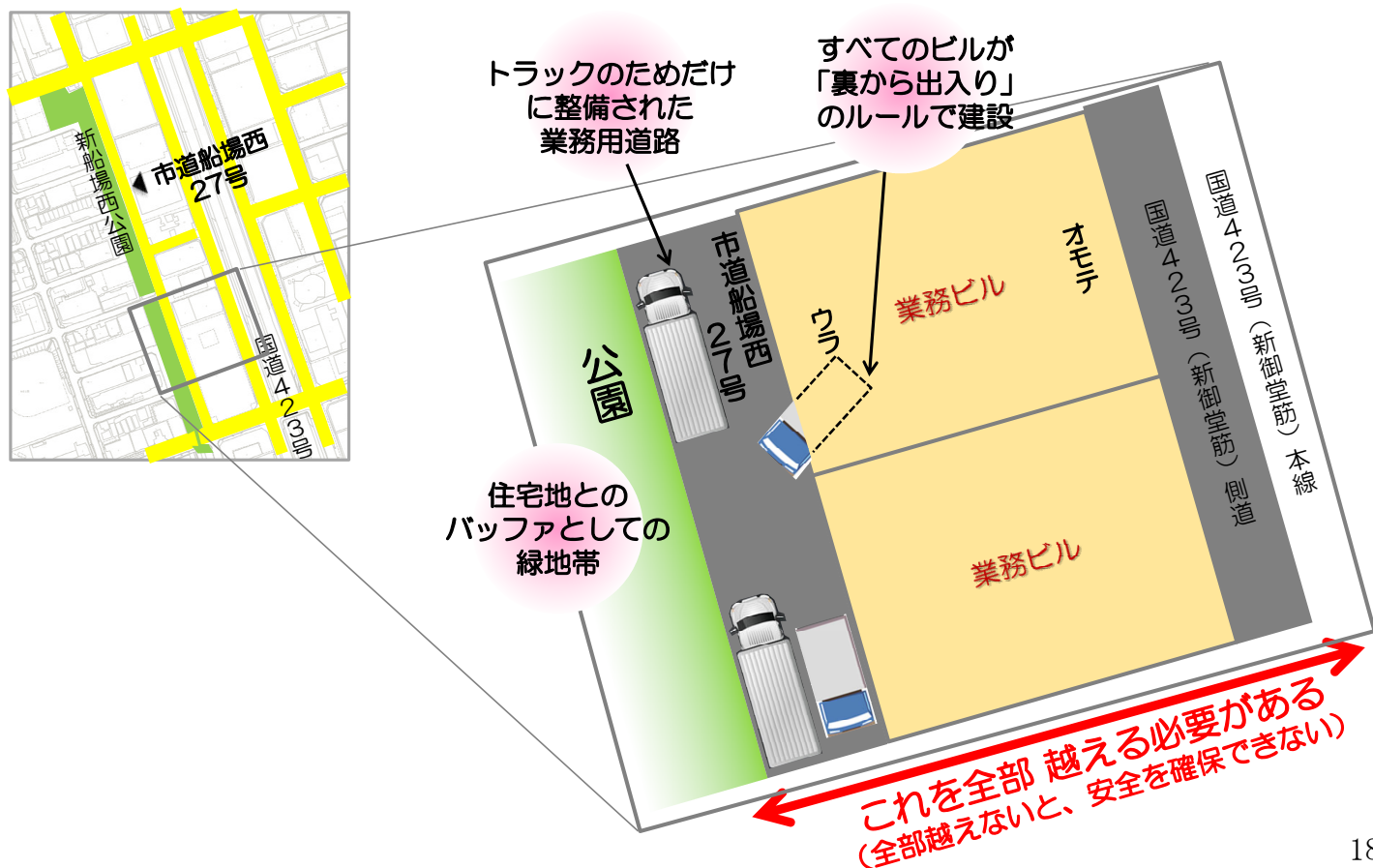


▼写真（新船場南橋交差点）



公園付近の道路の現状と危険性①

新船場西公園沿いを走る道路（市道船場西27号）は、業務用に使用する道路として整備されたものであり、歩行者の通行を想定していない道路形状で、かつ業務用の大型車両の通行が多い場所です。



公園付近の道路の現状と危険性②

市道船場西27号は、トラック用道路であるため歩道の整備はできません。
また、1日のべ2,000台以上、ピーク時には1時間あたり170台のトラックなど車両が通行し、歩行者（特に高齢者や子ども、車いす、バギーなど）にとっては非常に危険性が高い状況です。



歩行者デッキの整備効果は「安全性」

周辺道路の危険性回避、歩行者の安全性確保のために、歩行者デッキを整備します。

▼ 船場地区現況写真



▼ 歩行者デッキ整備位置図

